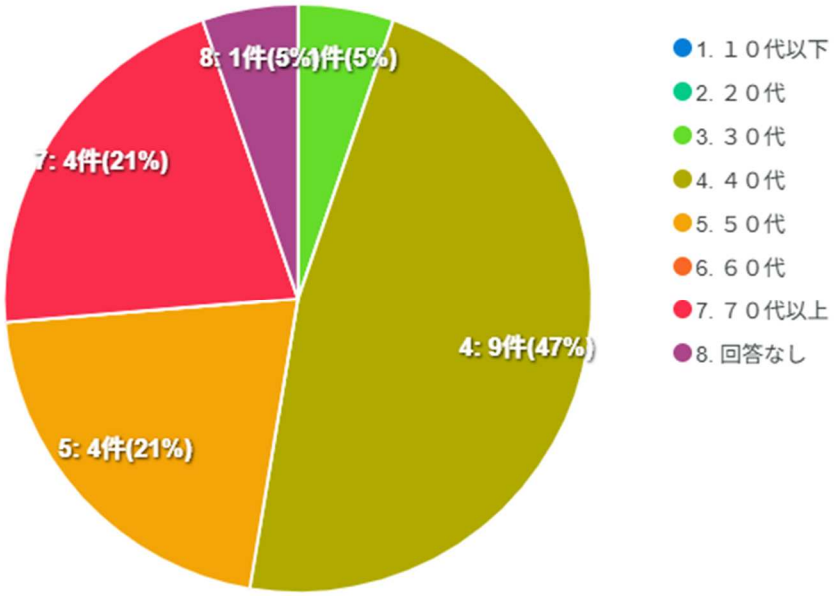
松阪市議会文教経済委員会

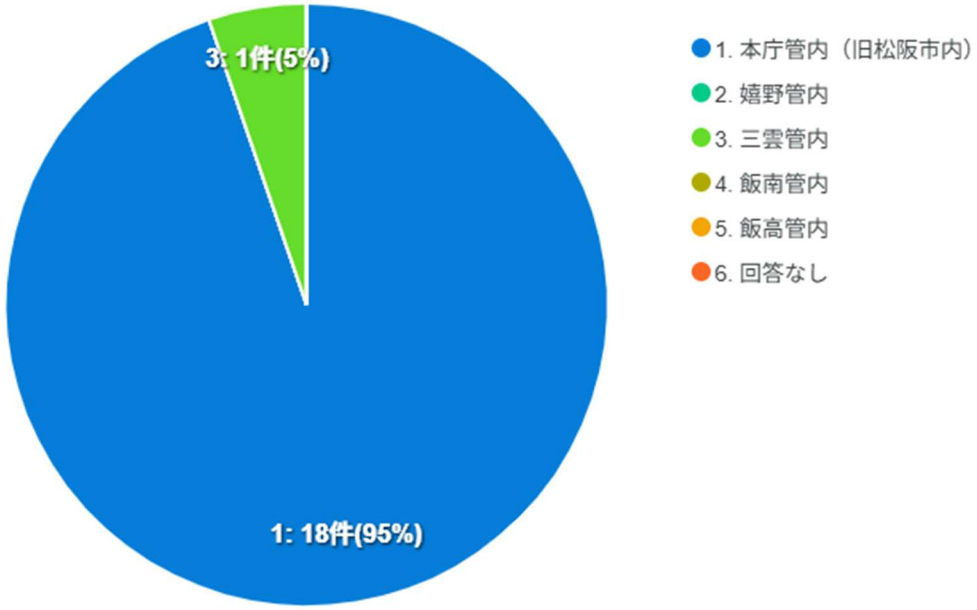
議員と話す会「子どもたちの居場所・環境づくり」参加者アンケート

開催日時：令和８年７月２３日（木）　午後７時～午後８時３０分
会　　場：松阪公民館　講座室１
テ ー マ：子どもたちの居場所・環境づくり
参 加 者：２２人
回答者数：１９人

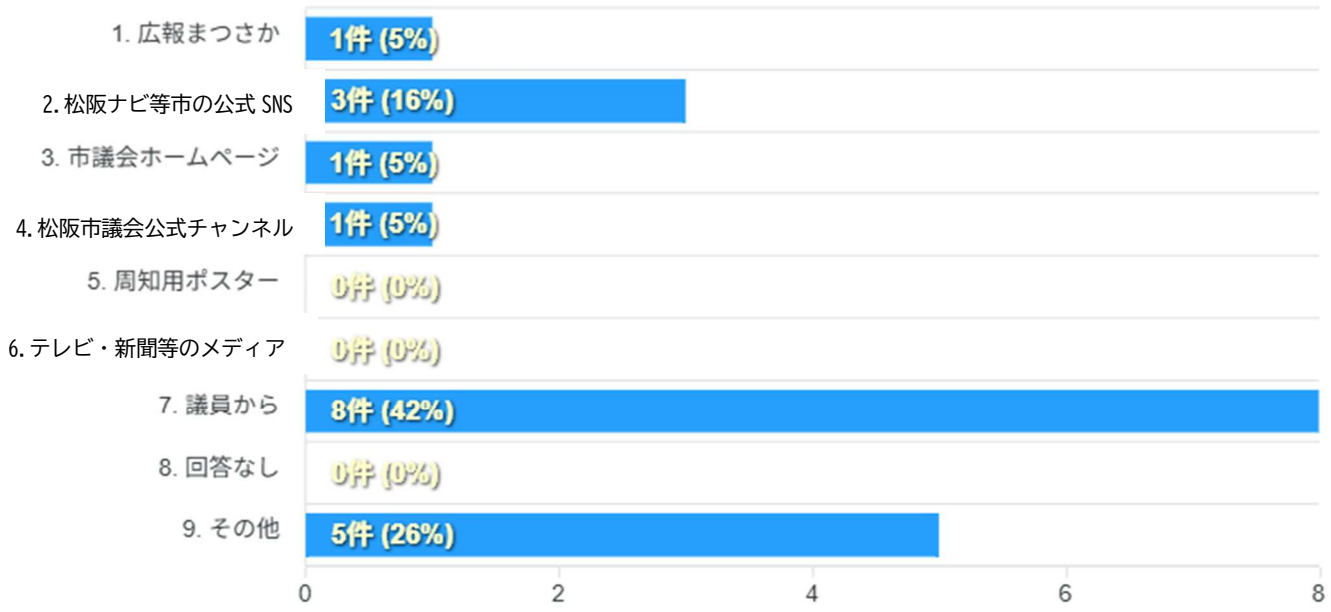
Q．あなたの年齢を教えてください。



Q２．あなたのお住まいを教えてください。

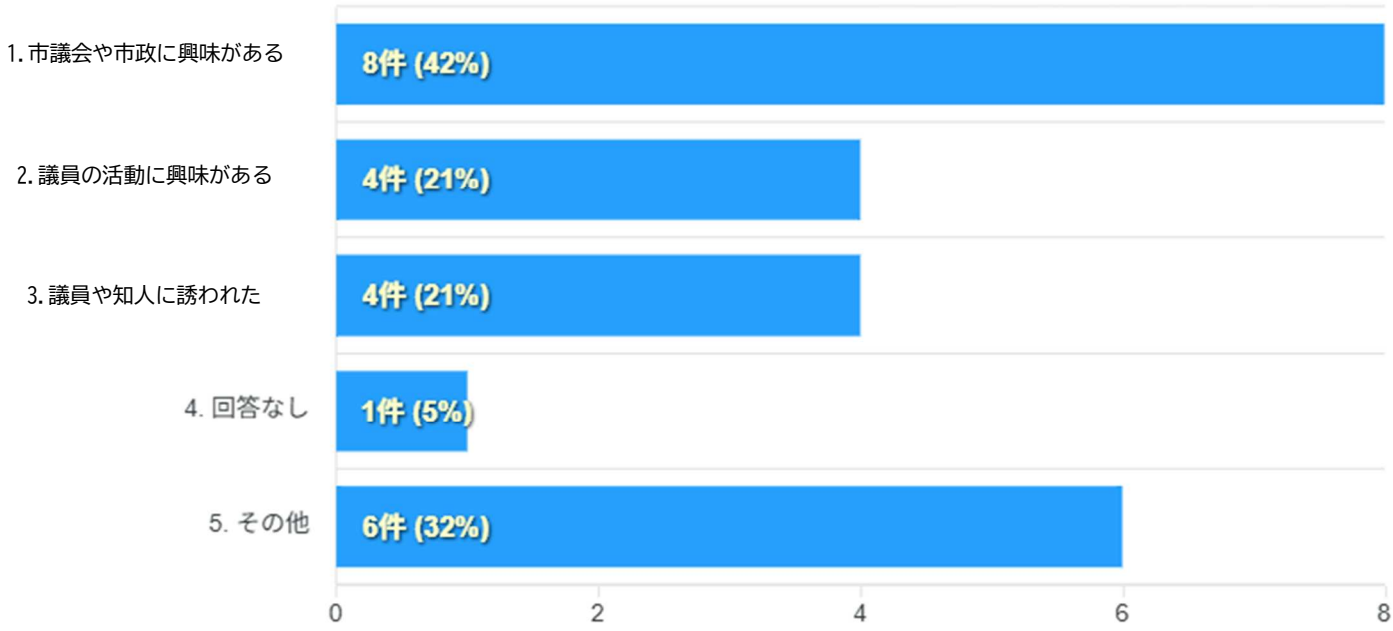


Q.「議員と話す会」の情報は何でお知りになりましたか。（複数回答可）



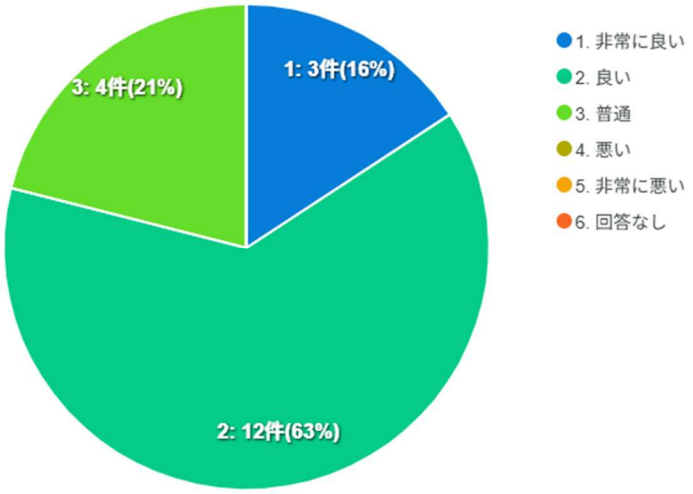
その他・・・市会議員の Facebook から、知人から　など

Q.「議員と話す会」に参加された理由を教えて下さい。（複数回答可）

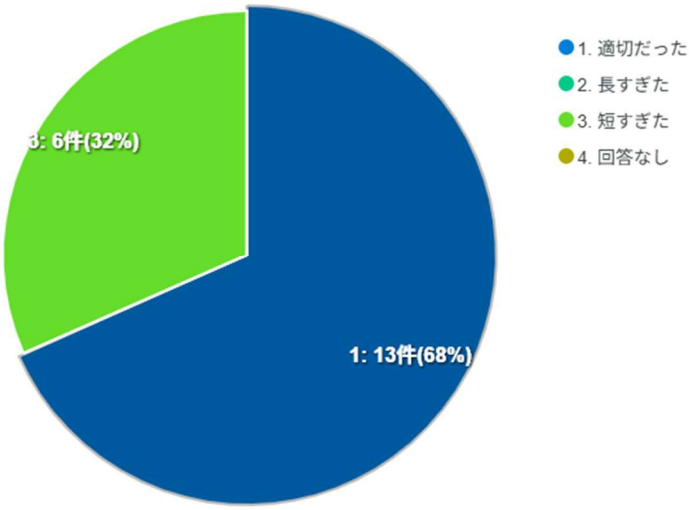


その他・・・テーマに興味があった、ＣＳ・学校について話したかった、子どもに関することに興味がある、知人に誘われた　など

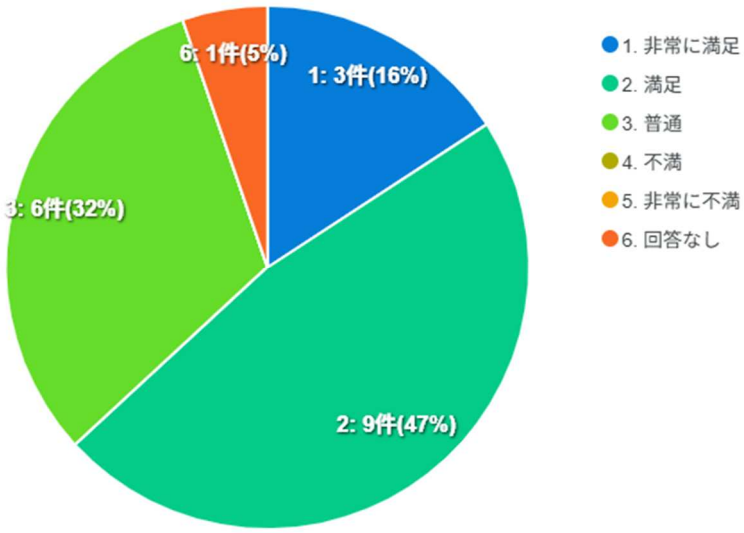
Q.「議員と話す会」の全体的な進行はいかがでしたか。



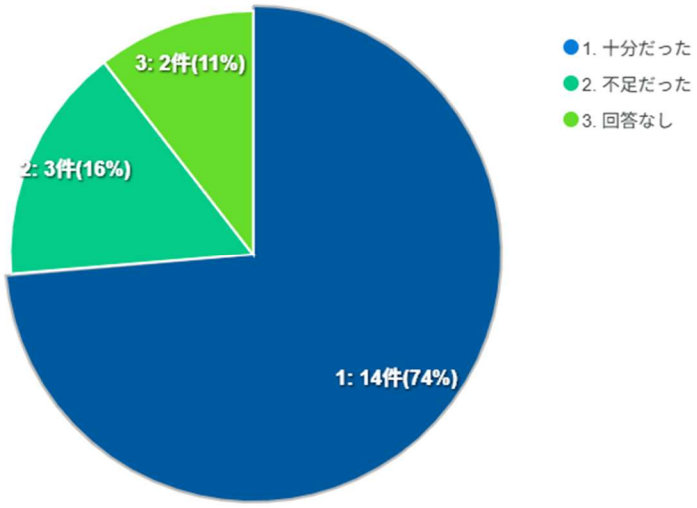
Q.「議員と話す会」の時間配分は適切でしたか。



Q.「議員と話す会」で話し合われた内容に満足していますか。



Q．自由に意見を述べる時間が十分にありましたか。



Q．どのような話題が特に印象に残りましたか。（自由記述）

・SNS の併用
・CS の展開について
・学童を運営する保護者のリアルな意見
・コミュニティスクールが私の住む第三小地区にあることを知れて良かったです！！
・スマホとＣＳの話題のつながり
・いろいろ参加者のみなさん、それぞれの教え方を聞く事ができて良かったです。
・今回のテーマとして「放課後児童クラブについて」「コミュニティスクール」「SNS」と大きく３つのテーマを用意いただき班に分かれて、話し合いをいたしました。私自身参加は「放課後児童クラブについて」でしたが、運営である保護者側、民間ですでに児童クラブをされている側で、双方の思っていることをお話できたのではないかと思います。結論にはいかなかったものの、気づきになった部分も多かったのではと考えます。学校側と放課後児童クラブとの確執、機関連携の脆弱さ、主人公が誰であるかなど、時間が足らなくなってしまうほどでございました。
・コミュニティスクールに関わっている方々の実際のボランティアの集め方などの話が興味深くもっとききたかったです。いろいろな世代の SNS のとらえ方が面白かったです。
・学童の指定管理について
①指定管理になると、市が民営業者に丸投げになり、指導員の賃金が減給されることになり保育の質の低下につながるのではないかと懸念する。
②保育園のような公設公営にすることがなぜできないのか説明してほしい。
指定管理制度を用いる制度を不安なく受け入れる学童がどのくらいあるのか教えてほしい。

③学童の保護者会運営で困難なことは人事であると考える。指導員の手配や人件費の管理を市で担ってくれたら、あとは保護者会運営で十分にやっていけると思う。
④指定管理業者には、社会福祉法人や NPO 法人が委託していくつもりだと思うが、そういったところの運営にクリーンなイメージだけではない。その運営方法に市がどのくらいの関わることができるのか知りたい。
⑤市は学童運営を指定管理の方向で推し進めるなか、学童個々に方針の説明はしたが、学童の代表者などを集め意見を求める場を一度も設けることをしていない。現場の意見を吸い上げる努力もせず、方針も定まらず、そんな市のやり方に不安しかない。

Q.今後の「議員と話す会」で取り上げてほしいテーマ等があればお聞かせください（自由記述）

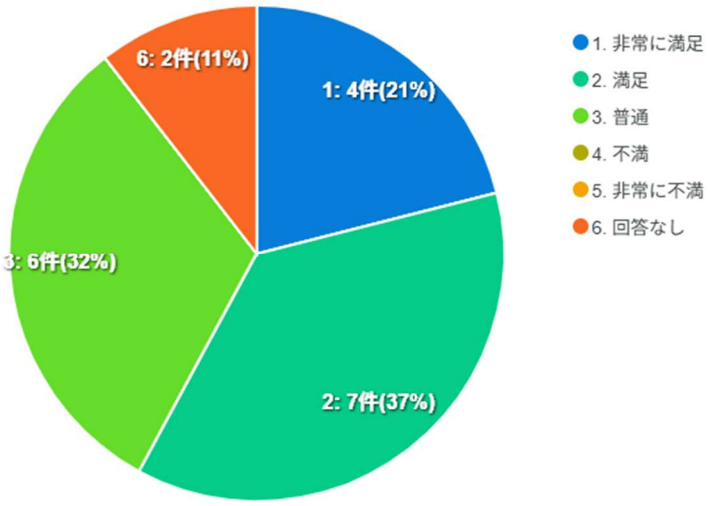
・みえ松阪マラソン大会の中学生授業
・コミュニティスクールの検討
・中学生の部活動の地域移行
・今回のメインの問である、子どもたちの居場所・環境づくりとするならば、細分化するのではなく、そもそもの子どもたちの居場所として広くどういったものが必要なのか？現在松阪市内での居場所とされる部分の現状など、もう少し広い視野で教育メインではなく、福祉の目線も含み話す会ができないかと思います。
・駅西地区の再開発でどうするのか？建物自体の計画を民間企業に投げてしまったら市民から「具体的にどんな中身のビルができるのか？！」分からなくなってしまう危険が大いにある気がします！
・救急搬送時の選定療養費運用について

Q.「議員と話す会」の改善点や提案があればお聞かせください（自由記述）

・テーマに分けてグループで論議をすることは必要だが、その内容をしっかりと共有し、それについて意見する時間がないのが残念だった。
・希望したテーマのブースに入れなかった。若い方の参加者が多かったため、こうした機会がもっとあると良いと思います。準備のいる議会報告は大変なので、市議も参加する座談会程度のものを市議の数も減らして、複数回ひらいてもらいたいです。対面でいろんな地区の方と情報交換する場所を作るということにも興味があります。
・子どもの居場所としてのテーマで興味があり、参加したが、コミュニティスクールとか SNS とか学童で、それに関係ない子はどうするのだろう？と思った。

・貴重な時間を作っていただき、改めて感謝いたします。定期的に開催をしていただければと思います。

Q.「議員と話す会」の全体に対する満足度を教えてください。



Q. 議会に対して気になる点やご要望があればお聞かせください（自由記述）

・第三者チェックの機能を果たしていないと感じます。例えば、市議自身が、マラソン大会の中学生授業などを問題ないと判断しているのか、と思います。疑問を口にしてもらいたいです。
・議会というより何が議会なのか謎です。
・いろいろ教えてほしいです。

Q. その他ご質問・ご意見等があれば記述してください（自由記述）

・いつもありがとうございます。やはり対面の機会を大切にしていただければと思います。そこから住民どうしのつながりも生まれます。今回はありがとうございました。

・本日は貴重な時間をいただき、改めて御礼を申し上げます。
子どもたちの居場所の問題は、私たちが考えている以上に複雑であり、一人ひとりの置かれている家庭環境や地域環境によって、その課題は大きく異なっているのが現状ではないかと感じています。
放課後児童クラブの充実に向けて、行政の皆様が予算の確保や制度運営にご尽力いただいていることについては、十分理解しております。一方で、今回の「放課

後児童クラブについて」の説明の中では、お子様の利用をお断りせざるを得ない理由として、指導員不足や活動スペースの不足など、さまざまな課題が挙げられていました。利用ニーズが年々高まる一方で、受け皿が十分に確保できていないというアンバランスな状況があることを改めて感じました。そのような中、松阪市においては、長期休業期間中に「三間クラブ」として学童保育を実施されるなど、既存施設を活用しながら子どもたちの居場所を確保する取組を既に進められている実績もあり、柔軟な発想による施策が展開されているものと理解しております。帰宅後の子どもの居場所についても、現状では決定的な解決策が見出せていないように思われます。

そこで、あくまで一つの提案ではありますが、本日の会議が教育委員会（生涯学習課）を中心としたものであるならば、同じ教育委員会所管である幼稚園との連携についても検討できないでしょうか。これは当放課後児童クラブだけの話かもしれません。近年、幼稚園は教育機関として重要な役割を担っていますが、預かり時間の違いなどから保育所を選択する家庭も多く、園児数の減少により閉園や統廃合を余儀なくされる園も今後増えることが懸念されます。一方で、放課後の時間帯には施設や人的資源を活用できる可能性もあるのではないかと考えます。

仮に幼稚園を放課後の居場所として活用できれば、放課後児童クラブの受け皿拡大、保育士等の新たな雇用機会の創出、幼稚園と小学校との教育的連携の強化、子どもたちにとって安心できる居場所の確保など、多面的な効果が期待できるのではないでしょうか。さらに、現在推進されているコミュニティ・スクールの考え方とも親和性が高く、小学校・幼稚園・放課後児童クラブ・地域住民が連携し、それぞれの強みを生かしながら地域全体で子どもたちを育てる仕組みづくりにつながる可能性もあると考えます。

子どもたちを取り巻く課題は、一つの制度や一つの部署だけで解決できるものではありません。教育、福祉、地域がそれぞれの枠を少し超えて連携することで、これまでになかった新たな居場所づくりにつながることを期待しております。